

ヨハネスブルグ・サミット NGO活動報告集



発行者：環境パートナーシップオフィス
発行年月：2003年3月

報告集の作成にあたって

2002 年は、ヨハネスブルグ・サミットが開催された節目の年であった。ヨハネスブルグ・サミットは、持続可能な開発の実現のために 1992 年にリオ・デ・ジャネイロで合意された様々な事項について、我々がこれまでどのように行動をしたのか、今抱える課題は何かといったことについて、世界中の国、国際機関、NGO その他あらゆる主体が検証を行い、今後の方向性を議論する会合であった。

そのヨハネスブルグ・サミットでは、パートナーシップの実現がセールスポイントであった。リオで打ち立てられた「パートナーシップ」が、実際にヨハネスブルグ・サミットで実施されるかどうか問われたのである。このため、準備過程を通じてステイクホルダーとの対話が重視され、またサミットの成果にも、パートナーシップによってプロジェクトを構築し、宣言する約束文書（タイプⅡ）が導入されることとなった。

こうして、パートナーシップを基調とするヨハネスブルグ・サミットに、日本の NGO も積極的にかかわることが期待された。10 年前にも、日本からたくさんの NGO がリオに出かけ、市民社会によるサミットへの貢献を果たしたことは広く知られるところである。今回はリオのような派手さこそなかったが、持続可能な開発に向けた実際の行動を問う会合において、日本の NGO が貢献することは大変意義のあることであろう。

環境パートナーシップオフィス(EPO)は、市民、NGO、企業、行政などの各主体が協力・連携して環境問題に取り組むことを目的に、1996 年に創設され、パートナーシップ促進のための様々な取組を行ってきた。市民社会の機能に期待する社会・経済上の動きともあいまって、これまでの EPO の事業は、様々な課題をかかえつつも、パートナーシップの考え方を一般的なものにするよう働きかけてきた。ヨハネスブルグ・サミットの過程においても、パートナーシップの実現を目指そうという考えから、NGO の支援を行うこととした。具体的には、会議までの 1 年間、13 回にわたって、政府と NGO との間の意見交換会を開催し、ホームページなどを通じた国内外の情報の収集・提供などを行った。

NGO セクターにおいても、ヨハネスブルグ・サミットに向けて、着々と準備が進んだ。各団体が、それぞれ関心のある分野を中心に、実施計画等の交渉過程をフォローし、政策提言や情報交換を行った。また、ヨハネスブルグで世界の NGO と議論し、意見交換を行うための準備も行われた。とりわけ、NGO の活動を支援するための枠組みが NGO によって作られたことは、NGO の活動を活性化する上で、

重要な契機となった。

その結果、我が国からも多くの NGO が、ヨハネスブルグ・サミットに参加した。会議場でロビーイングを行ったり、NGO フォーラムで意見交換・交流を行ったり、各団体はそれぞれの活動を展開した。

政府も、NGO の活動を支援するために取組を行った。この種の大きな国際会議としては初めて、政府代表団に顧問という形で NGO などが参加した。現地では、政府代表団による NGO プリーフィングがほぼ毎日開催されたほか、NGO 連絡室が設置され、各種の便宜が提供された。

EPO においても、NGO と政府の間の連携を促進し、また、現地から日本への情報発信などに取り組んだ。

実際に、ヨハネスブルグ・サミットにおいて、どこまでパートナーシップが実現されたかについては、様々な意見がある。特に、会場の地理的な問題、会議へのアクセス、顧問団のあり方などについて、厳しい指摘もある。また、政策の中身自体にかかわるところでパートナーシップをどのように実現していくかは、今後の課題である。

ヨハネスブルグ・サミットは、政治宣言、実施計画を採択して閉幕した。サミットの成果については、各主体がそれぞれの立場から評価を行っている。NGO セクターにおいても、関心分野や活動の態様が多種多様であることに対応して、サミットに対しての評価も様々である。

そこで、EPO では、日本の NGO がヨハネスブルグ・サミットをどのように捉え、今後の活動にどのように活かしていくこととしているのかについて、取りまとめしておくこととした。NGO の考え方がまとめられていれば、サミットの合意事項の実施に当たっても、また、ヨハネスブルグ・サミットを振り返る場合にも、貴重な情報となると考えたのである。

このような観点から、国内の NGO に対するアンケートの形で、この調査を行った。もとより時間的な制限などもあり、すべての NGO を対象とすることはできなかったが、ヨハネスブルグ・サミットに参加した NGO の考え方の一端でも知ることができたのではないかと考える。

御協力いただいた NGO の皆さんには、この場をお借りして感謝の意を申し上げます。

環境パートナーシップオフィス（環境省民間活動支援室）

田 中 聡 志

報告書の作成にあたって

目次

NGO報告集

1	アース・ビジョン組織委員会事務局 EARTH VISION Committee	1
2	(特活)アサザ基金 Nonprofit Organization Asaza Fund	5
3	(財)旭硝子財団 The Asahi Glass Foundation (AGF)	9
4	アジア環境連帯 Asia-pacific Coalition for Environment (ACE)	13
5	(財)アジア女性交流・研究フォーラム Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW)	17
6	(特活)アジア太平洋資料センター Pacific Asia Resource Center (PARC)	21
7	ア・シード・ジャパン A SEED JAPAN (ASJ)	25
8	アフリカ日本協議会 Africa Japan Forum (AJF)	29
9	Alliance for Global Sustainability University of Tokyo Student Community (AGS UTSC)	33
10	AMネット Advocacy and Monitoring Network on Sustainable Development (AM-Net)	37
(写真)		41
11	(特活)エコス クラブ ECOS CLUB	43
12	エコ・リーグ(全国青年環境連盟) Japan Youth Ecology League	47
13	(特活)NPO研修・情報センター Specified Nonprofit Corporation NPO Training Resource Center	51
14	FoE Japan Friends of the Earth Japan	55
15	(財)オイスカ Organization for Industrial, Spiritual and Cultural Advancement (OISCA)	59
16	岡山ユネスコ協会 OKAYAMA UNESCO ASSOCIATION	63
17	沖縄環境ネットワーク OKINAWA ENVIRONMENT NETWORK	67
18	「環境・持続社会」研究センター(JACSES) Japan Center for a Sustainable Environment and Society	71
19	環境テレビトラスト日本委員会 TVE Japan	75
20	NPO法人 環境文明21 Japan Association of Environment and Society for the 21st Century	79
(写真)		83
21	(特活)気候ネットワーク Kiko Network	85

22	(特活)グリーンピースジャパン Greenpeace Japan	89
23	元気なごみ仲間の会 "GENKIGOMI" Network for Sustainability	93
24	国際青年環境NGOセージ Solid Action on Globalization and Environment (SAGE)	97
25	食料増産援助を問うネットワーク 2KR Monitoring Network	101
26	(特活)世界水フォーラム市民ネットワーク People's Forum on Water	105
27	(特活)第3回世界水フォーラム事務局 Secretariat of the Third World Water Forum	109
28	洗剤・環境科学研究所 Japanese Research Society of Detergents and Environmental Science	113
29	WWFジャパン (財)世界自然保護基金ジャパン WWF Japan	117
30	(特活)地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 (CASA) Citizens' Alliance for Saving the Atmosphere and the Earth	121
(写真)		125
31	地球憲章を考える仙台会議 Sendai Forum for Earth Charter	127
32	途上国の債務と貧困ネットワーク (デットネット) Japan Network on Debt and Poverty (Debt-Net)	131
33	(社)日本環境教育フォーラム Japan Environmental Education Forum (JEEF)	135
34	(特活)日本国際ボランティアセンター Japan International Volunteer Center (JVC)	139
35	(特活)ネットワーク『地球村』 Network Earth Village	143
36	ピースボート PEACEBOAT	147
37	(特活)フォーエヴァーグリーン Forever Green	151
38	(財)水島地域環境再生財団 The Foundation for Environmental Rehabilitation and Redevelopment of Mizushima	155
39	(財)水俣病センター相思社 The Minamata Disease Center Soshisha	159
40	メコン・ウォッチ Mekong Watch Japan	163
41	ヨハネスブルグ・サミット提言フォーラム Japan Forum for Johannesburg (JFJ)	167
42	立命館アジア太平洋研究センター Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies (RCAPS)	171
(写真)		175
	EPO/GEICのヨハネスブルグ・サミット(WSSD)関連事業	177
	ヨハネスブルグ・サミット資料集	179
	あとがき	187